

Inside Mind

心の中心

大木裕之監督作品

1999年/16mm/89分/カラー/日本

製作 リカコ・カンパニー

配給 スタンス・カンパニー



映画界のみならず現代美術の世界からも大きな注目を浴びる
 映像作家・大木裕之が作り出した癒しと慈愛に満ちた全く新しい世界。
 高知、長野、北海道と全国各地にロケし、
 2年以上の歳月をかけて完成させられた映像。
 世界的なジャズ・プレイヤー、リッチー・バイラーク、マル・ウォルドロンらの音楽。
 心中する二人の青年の記憶と日常の風景に全てが重ね合わされ、
 奇跡の瞬間が波のように打ち寄せる…。



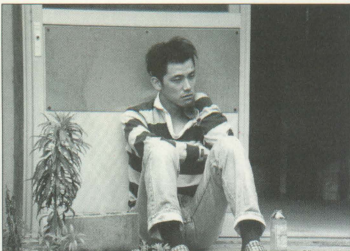
「切なく美しいゲイ・フィルム、
 そして、限りなく懐かしい宇宙」

石原郁子

渚に横たわる二人の美少年。愛の旅の果てに、今、心中しようとしている。だがその虚構の構図の上に、「心中のドラマを演じることをどう思うか」という、監督・大木裕之の間が投げかけられ、思い悩む青年たちの表情がじっとみつめられる。フィクションとノンフィクションとのあわいで、双方が解体されつつそこに何か新たなものが立ち上がってくる、スリリングで甘美な瞬間。さらに、横たわる二人の上に、定まらず揺れ動きさまざまな思いが重なり合う「心の中」そのままに、幾重にも映像が重なり、揺らめく。愛し合い、抱き合い、喧嘩し、ともに旅する、二人の追想(フィクション?)。そこに、大木自身の交友や旅の記録(ノンフィクション?)も重なり、二人の美少年が満潮で渚を去ったあとには、砂浜で舞蹈する大木自身と友人とのイメージが繰り返されてゆく…。

大木裕之は、耽美派の映画作家というわけではまったくない。ことさら凝った画面作りなどはいっさいない。彼はただ、自分にとってもっとも親しいもの、愛するものに夢中で見入り、賛美し、記憶し、ともに生きる。無心な嬰兒のように、すべての感覚を素直に開いて、風や光や海や木々を感じ、駅や電車や商店街や祭りやそこに行き交ひむむ人々を愛し、ありのままに受け入れ、全身で戯れる。歓喜に満ちて、自然に、しなやかに。

だがそれでいて、あるいはそれゆえにこそ、この映画はすばらしく美しい。見た目が快いように小細工される凡百の作品とは徹底して無縁の場所で、あくまでも「天然の存在者」たる大木自身の愛や欲望の赴くまま、自在に遊戯し、彷徨し、遊び、模索し、いつしかひとりでに、対象のもっとも美しい瞬間を掴み取り、愛撫している。



南国の海を満ちた夏の光。大木の故郷・東京郊外の雪映え。たゆたう波の中を列車が走り抜け、若者たちが笑いさざめき、友人たちが歩く。金色の夕日に少年の顔が重なり、夏の高知の海に冬の北海道の雪山が重なり、黄昏の海の底から焚き火が燃え上がる。二人の青年の愛と官能のドラマをかたちづくる、せつなくもフォトジェニックなゲイ・フィルム。しかしそこにあるのは単なる表面の美だけではなく、対象の内なる生命の波動が大木によって抱きしめられた瞬間であり、宇宙に連なる巨きく深い広がりを感じさせつつ、未生以前から良く知っていた風景のように、限りなく懐かしい。ほの暗く不気味な、死や存在に関する疑問も、ひりひりするような愛の痛みも、すべてが究極でその巨きな広がりにも溶け入り、輝く。

大木作品はいわゆる「実験映画」に分類されるが、彼は意図して「実験」しているわけではない。映画を束縛するあらゆる旧めかしい約束事から完全に自由であるのと同じく、彼は、意図すること・作りごとの小賢しさからも、完全に自由だ。彼はただ生き、そのしなやかに開放された全身を通して、私たちに宇宙を贈与する。



Inside Mind

Combining fictional and documentary approaches in this fascinating new film, Oki tells the story of two men in love through a series of overlapping shots that blend into each other.

A giddy mid-summer day at the seashore in Kochi. Two young men are lying on the beach. As the tide comes in following the slanting rays of the sun, the waves begin to lap at their bodies and then crash back into the ocean. Before long, they are taken by the tide, and pulled out to sea.... The overwhelming force with which this beach scene is rendered sets the tone for the entire film, which is simultaneously a love story between the two young men, and a faithful records of the actual process of the film-making.

These different aspects are curiously fused to create a new filmic landscape. Call it "Inside Mind"

心の中 1999/16mm/89min/color/Japan/Japanese with English Subtitle

1998年バンクーバー国際映画祭、1999年山形国際ドキュメンタリー映画祭招待作品
 監督・脚本・編集:大木裕之 企画・制作:内原理恵 / 制作協力:高知シネマクラブ
 音楽:リッチー・バイラーク、マル・ウォルドロン、竹崎和征、大木裕之ほか
 製作:リカコ・カンパニー
 出演:阿部公彦、川村五博、矢吹れん、清岡恭久 ほか

Selected : Vancouver International Film Festival 1998,
 Yamagata International Documentary Film Festival 1999
 Directed, Written, Edited by Hiroyuki Oki
 Produced by Rie Uchiyama in association with Kochi Cinema Club
 Music by Richie Beirach, Mal Woldron, Kazumasa Takezaki, Hiroyuki Oki
 Production : Rikako Company
 Cast: Kimihiko Abe, Itsuhaku Kawamura, Ren Yabuki, Yasuhisa Kiyooka

配給: スタンス・カンパニー / www.stance.co.jp

5月27日(土)~6月9日(金) 連日 PM8:45~

前売券¥1300発売中 (当日一般¥1500の処)
 劇場窓口、ぴあ、ローソン、市内プレイガイドなどでお求め下さい。

心斎橋アメリカ村 BIG STEP 4F 06
 パラダイスシネマ (6282)
 1460

同時期公開 切ない愛の物語 香港若手スター結集

美少年の恋